

## 富山湾漁況・海況概報

(NO. 30-6)

富山県農林水産総合技術センター  
水産研究所：TEL (076) 475-0036

## 1. 平成30年8月の漁況

水産研究所が県下市場から収集した平成30年8月の県内の総漁獲量は409トンで前年(679トン)を下回り、平年(過去10年平均：606トン)を下回った。

## 2. 8月の主な魚種別漁況 (表1参照)

シロエビ：全市場合計漁獲量は93トンで平年(過去10年平均：70トン)を上回った。

市場別漁獲量はとやま市55トン、新湊38トン。

ツバイツ・フクラギ：全市場合計漁獲量は87トンで平年(過去10年平均：92トン)をやや下回った。

市場別漁獲量は氷見45トン、魚津27トン、新湊7トン。

シイラ：全市場合計漁獲量は45トンで平年(過去10年平均：60トン)を下回った。

市場別漁獲量は氷見40トン、魚津2トン、新湊2トン。

アジ：全市場合計漁獲量は24トンで平年(過去10年平均：67トン)をかなり下回った。

市場別漁獲量は氷見14トン、魚津7トン、新湊3トン。

カタクチイワシ：全市場合計漁獲量は15トンで平年(過去10年平均：95トン)をかなり下回った。

市場別漁獲量は氷見14トン。

ウルメイワシ：全市場合計漁獲量は12トンで平年(過去10年平均：2トン)をかなり上回った。

市場別漁獲量は氷見9トン、新湊3トン、魚津1トン。

マイワシ：全市場合計漁獲量は8トンで平年(過去10年平均：27トン)をかなり下回った。

市場別漁獲量は氷見8トン。

サバ：全市場合計漁獲量は8トンで平年(過去10年平均：14トン)を下回った。

市場別漁獲量は氷見7トン、魚津1トン。

表1 平成30年8月の主な魚種別漁獲量 (単位：トン)

魚種	漁法	平成30年8月				前年 月計	前月 月計	平年比 (%)
		上旬	中旬	下旬	月計			
シロエビ	漁	34	18	41	93	83	100	133
ツバイツ・フクラギ	定	42	25	20	87	208	46	94
シイラ	定	3	31	11	45	41	4	75
貝類(主にカキ)	漁	16	12	9	37	44	37	72
アジ	定	7	7	9	24	45	47	36
カタクチイワシ	定	5	3	7	15	63	56	15
ウルメイワシ	定	1	3	8	12	2	0	556
マイワシ	定	1	0	7	8	38	25	32
サバ	定	1	1	7	8	67	7	59
小計		110	99	120	329	589	323	
その他		28	25	27	80	91	177	
合計		138	124	147	409	679	499	67

注：単位未満は四捨五入したため、月計と各旬の合計値が一致しない場合がある。

定：定置網 八：八艘張網 沖釣：沖合いかつり漁業 漁：その他漁船漁業

※ 参考	かなり上(下)回る：+51%以上	上(下)回る：+50%~+21%
	やや上(下)回る：+20%~+6%	平年並み：+5%以内

### 3. 海洋観測結果

平成30年9月期の海洋観測を8月29～30日に実施した。今回観測した水深別の湾内17定点の平均水温、これらの平年差、評価及び前月差は表2のとおりであった。また、観測域の表層、水深50m層、100m層および200m層における水温水平分布は図1のとおりであった。

観測定点の水温の範囲は、表層で25～27℃台、50m層で18～23℃台、100m層で14～17℃台、200m層で4～8℃台であった。なお、昨年同期の湾内17定点の平均水温との差は、表層で -1.10℃、50m層で-0.19℃、100m層で +0.42℃、200m層で +0.41℃であった。

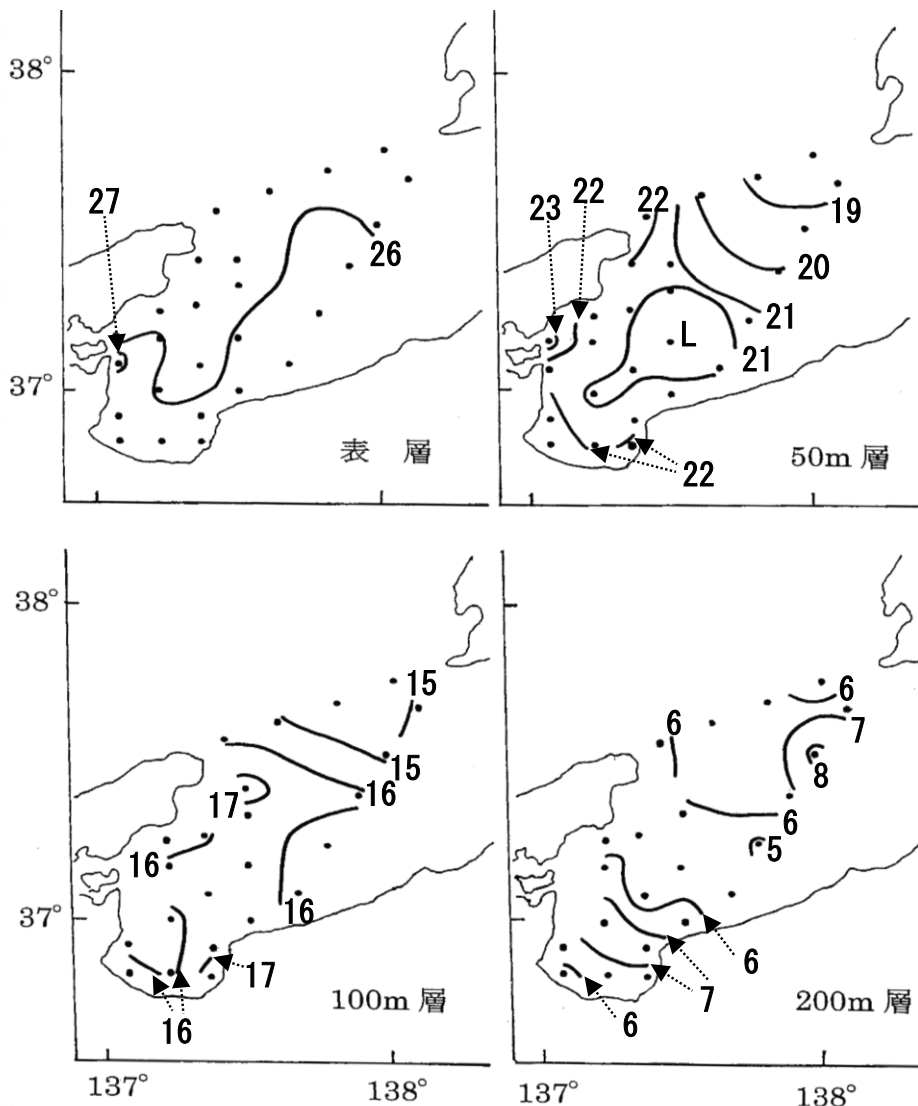
表2 富山湾の平均水温(17定点平均)

(水温:℃)

水深(m)	0	10	20	30	50	75	100	150	200	300
水温値	26.02	25.70	25.21	24.17	21.52	19.03	16.39	10.72	6.34	2.16
平年差	-0.66	-0.75	-0.67	-0.63	-0.28	+0.81	+1.05	+0.48	+1.33	+0.81
評価	←-----→					←-----→	←-----→	←-----→	←-----→	←-----→
	平年並み					やや高い	平年並み	やや高い	はなはだ高い	
前月差	-3.24	-1.57	+1.55	+2.22	+1.61	+1.88	+0.83	+0.57	+1.24	+0.67

“平年並み” …約2年に1回の出現確率      “かなり高(低)い” …約10年に1回の出現確率  
 “やや高(低)い” …約4年に1回の出現確率      “はなはだ高(低)い” …約20年以上に1回の出現確率

図1 水温水平分布



#### 4. 平成30年秋期のフクラギ（ブリ当才魚）漁況予報

<フクラギ(0歳)・・・平年を上回る>

今年秋期(9～12月)のフクラギの漁獲量は、平年(988トン)を上回ると予測される。

#### 「根拠となった情報」

##### ① 8月の富山県のツバイン、フクラギの漁獲尾数

今年8月の富山県のツバイン、フクラギの漁獲尾数は37万尾(漁獲量71トン)と推定されている。1997年以降では、8月の漁獲尾数が非常に多かった年(150万尾以上であった2001年と2005年)を除くと、8月の漁獲尾数が多いと9～12月のフクラギの漁獲尾数が多い関係がある。前記の関係から9～12月には176万尾(過去10年平均:171万尾)が漁獲されるものと計算される。各月別魚体重量(9月500g、10月700g、11～12月800g)と、近年の月別の漁獲尾数割合(直近5年は9～10月が減り、11～12月が増加)を勘案して漁獲量を計算すると、平年を上回る1,200トン程度と予想される。

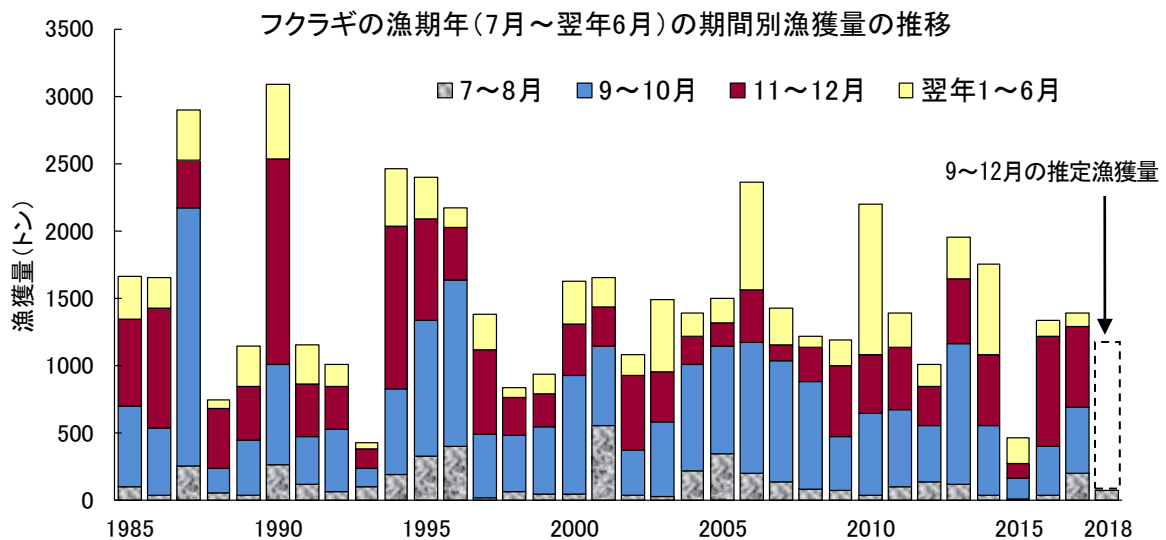
##### ② 8月及び9月の富山湾内の水温

8月及び9月における富山湾内の表層から50m層までの平均水温が23℃を下回ると、9～12月の漁獲量が1,000トンを下回る確率が高い傾向がある。今年8月の平均水温は24.4℃(過去30年間の平均24.0℃)、9月の平均水温は24.5℃(過去30年間の平均25.1℃)であり、水温条件からみると、今漁期(9～12月)が極端な不漁なる確率は低いと考えられる。

#### 【参考情報】

7、8月の近県の定置網によるツバイン、フクラギの漁況

漁獲量は福井県、京都府では平年並み、石川県では平年をやや下回った。



<ブリの予報は11月に発表いたします。>